



湖北のアール・ブルリュット展2020 開催 (2020.11.20~11.23)

1月20日現在

コロナとのつきあい方
滋賀プラン

警 戒
ス テ ー ジ

(ステージⅢ)

警戒ステージⅢとは…

- ◆手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など、基本的な感染対策の徹底
- ◆感染リスクが高まる場面に注意する
- ◆緊急事態宣言が発出されている地域など感染拡大地域への不要不急の外出は控える
- ◆家族や普段一緒にいる人以外との会食は控える などの協力の要請が滋賀県より出ています。

広報

こほくかい

新春
号

○発 行／湖北会 広報室(法人本部)

○住 所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行者／赤井耕太郎

○発行日／令和3年1月20日

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、年明け早々から新型コロナウイルス感染症の蔓延で世界中を席巻しております。新聞報道では一昨年12月8日に中国武漢から第一患者が出たらしく、わずか一年の間に世界全体7,500万人の患者、死者が200万人になろうとしています。

当会も各施設できるだけの防御態勢で臨み約一年間必死の努力をしてきているところです。

一昨年着工しました「湖北まこも」建替え工事は順調に進み、昨年10月に施設が完成しました。同月末には利用者の皆さんのが引っこしも終わり、新年を新しい施設で迎えていただくことができました。「入札時期」「起工式・着工時期」おそらくこれ程までにうまく行った事は生涯あり得ない程の幸運に恵まれました。ただ、竣工式については、コロナ禍において緊急事態宣言が発出されている地域もあり、感染予防のため、法人、工事関係者のみで開催する判断を致しました。

一方、湖北会の運営状況をみてみると、なんとかまかなっていますが、支援に対する費用の増大、また、コロナによる利用者減による減収などにより、刻々と経営が圧迫されてきています。今後一層の経費削減、交通事故防止に努め、職員一丸となり、経営に努めてまいりたいと思います。

どうか、一日も早いコロナの収束を願い、皆様のご健勝を祈りつつ、新年のご挨拶といたします。

2021年(令和3年)正月
社会福祉法人 湖北会
理事長 赤井耕太郎
役職員一同



オンライン職員研修に取り組んでいます。

全国で新型コロナウイルスの感染がますます拡大しています。緊急事態宣言も発出され心配な状況が続いています。このコロナ禍の中で、法人内各事業所においては、今年度取り組む研修において、今まで通りの研修方法では十分な職員の資質・専門性の向上にはつながらない状況になってきました。そこで、今年度は、サポートアーズ・カレッジによるWeb研修を取り入れることになりました。いつでもどこでも15分の講義を受けることにより、支援のための知識・スキルが学べます。働き方や学び方が大きく変わるなか、わたくしたち職員はそれぞれに即した取り組みを行い、工夫しながら学んでいきたいと思います。



『湖北のアール・ブリュット展2020』開催される

11月20日～23日の4日間、長浜曳山博物館作家43名・約100点の作品が展示されました。コロナ禍の影響が来場者にも影響がありましたが、アール・ブリュット(生の芸術)のすばらしさを肌で感じ取っていただけたのではないかと思います。



湖北まこも | 施設案内 |



昨年10月末から新しい施設での生活が始まりました。

今以上に利用者の皆さんの生活の質が向上し、ここに住んでよかったです
と思っていただける場所にしていきたいと思っています。



支援員室



居住棟2階デイルーム



居住棟2階デイルーム



居室



居住棟1階デイルーム



居住棟1階デイルーム



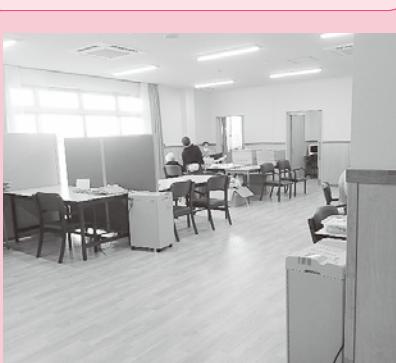
浴室



作業棟リラクゼーション室



作業棟①



作業棟②



作業棟玄関先



食堂

※令和3年3月1日完成予定

ふくらの森 インスタはじめました

ふくらの森がインスタグラム（馬のアイコンが目印）で利用者作品の画像の掲載を始めました。

ふくらの森のアーティストたち（利用者）の作品を多くの人が触れ感動を届けたいという想いで始めました（個人情報に関わる作者名簿は伏せています）。

作品には、なんとも言えない魅力があり、感動をもらい時には癒され、日頃の利用者さんからは見られない感性や個性が感じられます。

毎週、金曜日に更新していますので是非見て下さい…♥（いいね）やフォロー頂けると作品制作の励みになります。



編集委員 服部

とにかく、このコロナ禍：便利な物を使つたりアイデアを出し合つたりして、うつらないうつさない意識を保ち続けて乗り切つて何か落とし穴に落ちてしまわないかと心配も…。

新しい生活様式へと様々な場面で移り変わっていく中、支援の中非接触の体温計がスタンダードになりました。検温をする回数が増え、スピーディーに人に触れずに図れる点、便利さを感じずにはいられません。

共有する物や場所は、消毒する拭くということがあたりまえになり、電車の中では吊革に直に触れないように、オフィスでドアノブを直に触らないようになどなどアイデア商品もいろいろ出ています。ただ、便利さに慣れてしまつて

編集後記

新顔登場『新人職員紹介』

やました みほ
山下 美穂



- 配属先 湖北まこも
- 趣味 読書、手芸、料理
- 特技 時間関係なく、睡眠がとれること
- 抱負 研修など積極的に参加して、支援者としてのスキルアップを図りたいです。

ほあし もとみ
帆足 元美



- 配属先 湖北まこも
- 趣味 おいしい物を食べること
- 特技 特になし
- 抱負 利用者さんに寄り添った支援を心がけてがんばります。

まつもと かな
松本 佳奈



- 配属先 あそしあ
- 趣味 ドライブ 動画鑑賞
- 抱負 わからないことが多く、先輩方にご指導して頂きながら、業務に取り組んでおります。まだまだ、未熟ですがよろしくお願い致します。